

浜松市総合戦略に関する事項

1 概要

- ・2014（H26）年11月に成立したまち・ひと・しごと創生法に基づき、2020（R2）年3月に次の2点を策定している。
浜松市“やらまいか”人口ビジョン（令和2年改訂版）
第2期浜松市“やらまいか”総合戦略（計画期間：2020（R2）年度～2024（R6）年度）
- ・SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みは、地域の諸課題の解決に貢献し、地方創生に資するものであることから、地方創生推進の一要素と位置付けている。
- ・国は、まち・ひと・しごと創生総合戦略を改訂し、デジタルの力を活用し地方創生を加速化・深化し、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を2022（R4）年12月に策定した。

2 管理推進体制

・検証手法

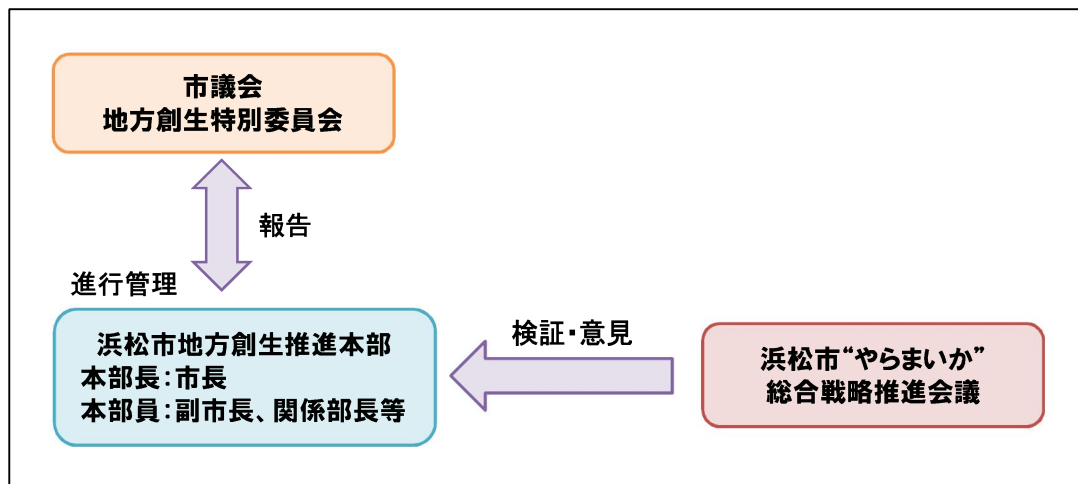
総合戦略は、総合計画の進捗管理に当たり毎年策定する「戦略計画」に位置付け、事業を体系的に管理する「政策・事業シート」により、PDCAサイクルによる検証を実施している。

・検証体制

浜松市地方創生推進本部（庁内会議）：総合戦略の進行管理など

浜松市“やらまいか”総合戦略推進会議（有識者会議）：検証、意見聴取

地方創生特別委員会：総合戦略を着実に推進し、効果検証について妥当性・客観性を担保するため、報告



3 “やらまいか”総合戦略の改訂

- ・国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の策定を受け、地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略の改訂を求められている。
- ・国のまち・ひと・しごと創生長期ビジョンは2024（R6）年中に改訂予定。
- ・国のデジタル田園都市国家構想総合戦略とまち・ひと・しごと創生長期ビジョンを踏まえ、現総合戦略の終期でもある2024（R6）年度末に、“やらまいか”総合戦略の改訂を予定。

4 改訂スケジュール

- ・2024（R6）年中 国のまち・ひと・しごと創生長期ビジョン改訂
- ・2024（R6）年度末 浜松市“やらまいか”総合戦略改訂

【資料】

- ・資料1：第2期浜松市“やらまいか”総合戦略の概要

第2期浜松市“やらまいか”総合戦略（人口減少抑制に向けた戦略的対策）

○基本目標と数値目標

基本目標Ⅰ 若者がチャレンジできるまち

「仕事のない場所には人は集まらない!!!」

◎若者、子育て世代の生活基盤の安定
 “ものづくりのまち”として発展を遂げた本市の強みを活かし、既存の産業力の強化や情報通信技術などのSociety5.0の実現に向けた新たな技術の活用により、魅力的な雇用の創出や働きやすい環境づくりに努めていく。また、様々なジャンルの創業を支援するとともに、女性、高齢者、障がい者、外国人など、誰もが活躍できる環境を整備することで、若者、子育て世代などの生活基盤の安定を図り、転入促進・転出抑制を図っていく。

数値目標

- ・満足いく雇用機会に恵まれていると思う人の割合 24.6% (2019年度) **30.0%** (2024年度)
- ・市内総生産額 3兆0222億円 (2016年度) **3.3兆円以上** (2024年度)

基本目標Ⅱ 子育て世代を全力で応援するまち

「理想とする家族像が実現できないなんて夢がない!!!」

◎希望出生数をかなえる環境整備
 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を提供し、子育て世代を全力で応援することで、人口減少に歯止めを掛ける人口置換水準 2.07 を目指していく。

数値目標

- ・合計特殊出生率 1.51 (2018年) **1.84** (2024年)
- ・子どもを子育てしやすい環境が整っていると思う人の割合 21.5% (2019年度) **50.0%** (2024年度)

基本目標Ⅲ 持続可能で創造性あふれるまち

「浜松に住み続けたい!!」「浜松で暮らしたい!!!」

◎だれもが引き寄せられる都市の魅力を創出
 利便性が高く、コンパクトでメリハリの効いた、次世代にツケを残さない、人口減少時代に合ったまちづくりを進めるとともに、いつまでも、安全・安心な暮らし、にぎわいのある生活環境、誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会など、自然や日常の豊かさを実感できるまちづくりを進めることで、市内内外の人を引き寄せる都市の魅力を生み出し、高めていく。
 また、SDGsの理念である持続可能で多様性のある社会の実現のため、SDGsの浸透を図り、経済・社会・環境が調和した統合的取り組みを推進する。

数値目標

- ・住んでいる地域が住みやすいと思う人の割合 58.7% (2019年度) **65.0%** (2024年度)
- ・健康寿命 男性 73.19歳、女性 76.19歳 (2016年) **男性 73.98歳、女性 76.94歳** (2024年)

○基本目標に対応した基本的方向と施策体系



